

◆評価について

- 1 観点別評価
- 2 評定
- 3 評価・評定の例
- 4 成績等の通知について
- 5 各教科のシラバス

◆進路学習部より

- 1 家庭学習について
- 2 昨年度の進路状況

◆特別支援学級について

●ご家庭でお子様と一緒にご覧頂き、役立ててください。

◆評価について

本校では、1学期末(7月)、2学期末(12月)、学年末(3月)の年に3回、保護者・生徒に通知表として評価・評定をお知らせしています。

「各教科の評価・評定」「出欠の状況」「特別の教科道徳の評価」「総合的な学習の時間の所見」「特別活動・部活動の記録」は3回、「総合所見」は学年末の1回通知します。

評価・評定を示す目的は、それまでの学習内容をどの程度達成しているかを確認し、自己の特性や課題を理解し、今後の学習や生活に生かすことです。ですから、通知表を見たときに「5だったから、Aだったから良かった」、「1だったから、Cだったから悪かった」という結果だけでとらえるのではなく、5やAがついたものは得意分野として、1やCがついたものは課題があるものとして考え、今後の学習に役立てていくことが大切となります。ご家庭でも評価・評定について十分な話し合いをもち、得意なところは誉めて伸ばし、課題については克服できるよう応援し、ご協力いただければと思います。

また、評価・評定を付ける側の教員についても評価というものを、「都度都度の状況から改善を促す手立てを示すもの」が評価という認識のもと通知表等で表現させていただいております。普段の授業等での改善への手立ての積み重ねが子どもたちの成果に結びつくよう努力させてまいります。

言うまでもなく評価・評定の対象は定期考査の点数だけではありません。日頃の学習への取り組み姿勢も多く含まれます。ぜひ、お子様と一緒にご一読いただき、授業の受け方や家庭学習の在り方などを考え、学習意欲や学力の向上に役立てていただきますようお願いいたします。

新宿区立西新宿中学校 校長 早川 隆之

1 観点別評価

観点別評価は、学習指導要領に示されている各教科の目標に準拠して、その達成状況を、各教科の観点ごとにA、B、Cの3段階で評価したものが記載されます。各観点において、自分がどの項目で優れた能力を発揮できたか、また、今後どのような観点が本人の課題なのかということが明らかになります。通知表を受け取ったら、評定の5、4、3、2、1だけでなく、観点別評価のA、B、Cもよく分析し、自分の特性を理解したり、自分の課題を見つけたりなど、今後の学習に役立ててほしいと思います。

◆観点別評価の方法◆

教科毎に評価の観点を定めています。その観点ごとに、表の通り評価します。

●観点別評価	観点1	観点2	観点3
	観点1の合計の	観点2の合計の	観点3の合計の
A 十分達成しています	80%以上	80%以上	80%以上
B おおむね達成しています	50%以上	50%以上	50%以上
C もう少し努力しましょう	50%未満	50%未満	50%未満

2 評定

評定は、5段階評価（5、4、3、2、1）で提示されます。各教科のそれぞれの期間における総合評価になります。

◆評定の決定の方法◆

各教科の3つの観点の評価を統合して5段階で評定します。

評定の達成率の目安は、表のとおりです。

評定	観点1と観点2と観点3の統合点	
5	十分達成しています。特に高い程度のもの	90%以上
4	十分達成しています	80%以上90%未満
3	おおむね達成しています	50%以上80%未満
2	もう少し努力しましょう	20%以上50%未満
1	一層努力しましょう	20%未満

評価の資料や基準については、学校として、各教科等において十分留意して、適切に設定しています。

3 評価・評定算出の例

	観点1	観点2	観点3	統合 (各観点の平均)
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	(観点1+観点2+観点3) /3
評価材料 の例※	定期考査 小テスト 実験操作 実技テスト	定期考査 小テスト 実験計画 レポート	定期考査 小テスト 課題提出の工夫 学習への取り組み姿勢	◎実際には、各教科ごとに評価 材料の種類や得点配分は異なる。
達成率 [%]				
新宿さん	90	90	80	$260/3 = 86.6$
西新さん	95	75	100	$270/3 = 90$
東京さん	80	90	40	$210/3 = 70$

※各学期末に教科ごとにお知らせします。

	観点1	観点2	観点3	評定
	観点別評価			
新宿さん	A	A	A	4
西新さん	A	B	A	5
東京さん	A	A	C	3

- 解説 ・新宿さん 観点別評価はすべて「A」ですが、3観点を統合した達成率が「5」の基準（90%以上）に入らなかったため、評定は「4」となります。
- ・西新さん 観点別評価は、「A」が2つ、「B」が1つですが、3観点を統合した達成率が「5」の基準（90%以上）を上回っているため、評定は「5」となります。
- ・東京さん 観点1と観点2の合計の達成率の平均は、「西新さん」と同じですが、3つの観点を統合した達成率が「4」の基準（80%以上）に入らなかったため、評定は「3」となります。

4 成績等の通知について

1. 学習の記録

1～3学期末に、学習の記録・特別活動の記録・出欠席の記録を「通知表」でお知らせします。

学習の記録については、3学期は、1～3学期の成績が合算されたものを学年末の成績としてお示します。

なお3学年においては、2学期も、1～2学期の成績が合算されたものをお示します。

2. 出欠の状況

授業日数、出席停止、忌引き日数、欠席日数、遅刻、早退、備考などを各学期ごとにお知らせします。

3. 特別の教科 道徳の評価

・道徳の授業を通して新しい考え方に気付いたり、考えを深めたりした題材を個々に選び、身についたことなどを記載します。

4. 総合的な学習の時間の所見

・総合的な学習の時間における活動内容や取り組みの状況、身につけた力などを文章で記述します。

5. 特別活動、部活動の記録

生徒会活動（委員会活動等も含む）や学級活動（係の仕事など）、部活動について、前期、後期ごとに記載します。

6. 総合所見

総合所見は、担任が個々の生徒の1年間の学校生活・学習全般の様子について記入しています。

5 各教科のシラバス

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| ・担当教員名 | ・学習の目標と学習方法 | ・使用教材 |
| ・授業について | ・生徒の皆さんへ | ・家庭学習について |
| ・試験前はどのように取り組もう | ・評価の観点および評価資料 | ・年間の学習計画と授業時数 |

①国語 ②社会 ③数学 ④理科 ⑤英語 ⑥音楽 ⑦美術 ⑧保健体育 ⑨技術 ⑩家庭

【学習の目標と学習方法】

- ①漢字や文法などの知識を正しく活用しながら意欲的に意見を話したり聞いたりして、お互いの意図や話題の方向を的確にとらえながら伝え合うこと。
- ②漢字や文法などの知識を正しく活用しながら意欲的に文章を書いて、材料を集めたり構成を考えたりしながら、内容を的確に、分かりやすくまとめること。
- ③漢字や文法などの知識を正しく活用しながら意欲的に文章を読んで、描写や構成などから書き手の考え方を的確にとらえ、自分の見方を広くしていくこと。

<p>授業について</p> <p>*授業は、教科書の内容を中心に進めていく。</p> <p>*教科書、ファイル、ワーク等は毎回必要。ノートを使う場合もあり。その他の持ち物は前日に教科係から知らせる。</p> <p>*知識事項の暗記だけでなく、自分の意見を書くこと、発言することを重視する。さらに、人の意見を理解し視野を広げようとする姿勢を大切にす。</p> <p>生徒のみなさんに</p> <p>*板書を写したノートやプリントに、自分の意見も書くことよい。また、自分とは違う人の意見も区別してメモするとよい。</p> <p>*積極的に取り組む。具体的には、発言、質問、話し合い、発表を積極的におこなう。</p> <p>*わからないところは、そのままにせず質問すること。</p> <p>*辞書を使いこなせるようになると、学びの速度が大きくアップします。</p>	<p>家庭学習では</p> <p>*授業で習ったことを家庭で復習する時間をとる。</p> <p>*宿題は、時間がかかっても必ず最後まで自分でやる。</p> <p>*日常的にその場で辞書を引く。</p> <p>*漢字・語句の意味・文法などの知識事項は宿題が出ていなくても、繰り返し復習しておく。</p> <p>*日ごろから新聞やニュースに触れ、それについて自分の意見をもつことは、国語力アップの基礎となる。</p> <p>試験前はこのような取り組みも行う。</p> <p>*家庭学習に挙げている知識事項は毎日学習して、知識を積み重ねておく。</p> <p>*ワークを使って単元の理解度をチェックする。</p> <p>*授業で学習したことを思い出しながら教科書の読み、プリントやノートを見て、授業で取り組んだ課題を確認する。</p> <p>*解けなかった問題や、わからない問題は先生や友達に聞いて解決しておく。</p>
---	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	社会生活において必要な国語の特質について理解し、それを適切に使うことができるようにする。(言葉の特徴や使い方に関する事項(漢字の習得を含む)や情報の扱い方、および言語文化について学年ごとに段階に応じた目標が示される。)	社会生活における人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、自分の思いや考えを広げたり、深めたりしている。具体的には「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関することでそれぞれの力を身に付ける。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めようとしながら、言葉のもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
	<p>・授業観察</p> <p>・定期考査</p> <p>・漢字練習、ワークシートなどの提出物</p> <p>・漢字、文法等の小テスト</p> <p>・書写の提出物 など</p>	<p>・授業観察(発言内容、話し合い活動)</p> <p>・定期考査</p> <p>・ノート、ワークシート</p> <p>・スピーチ</p> <p>・作品(作文、感想文、意見文、短歌、俳句等の創作)</p> <p>・単元小テスト など</p>	<p>・授業観察</p> <p>・作文やスピーチ原稿 などの下書き、推敲、仕上げ課程 など</p> <p>・ノート、ワークシートなどの取り組み経過</p> <p>・各単元(授業)ごとの振り返りシート など</p>
主な評価資料			

9

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
	漢字1① 漢字2② 漢字3③	スピーチ④	言葉1②	読感想文④	夏休み	言葉2③	言葉:表現技法:漢字⑥	漢字2①	冬休み	言葉3②	漢字3②	一年間の学びを振り返ろう①											
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
	アイスプラネット④	枕草子④	職業ガイドを作る⑤	漢字1②	クマゼミ⑤	夏休み	盆土産④	字のない葉書③	手紙やメール③	モアイは語る⑤	平家物語⑥	冬休み	ある自分④	言葉3②	話し言葉④	漢字3②	一年間の学びを振り返ろう②	木①					
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
	世界は①	握手⑤	論語③	スピーチ④	作られた物語④	漢字1①	夏休み	和歌・夏草⑥	挨拶②	故郷⑥	文法④	書写(硬筆)⑤	人工知能との未来⑤	分析して書く⑥	詩④	読書②	冬休み	問題演習⑥	スーパーステップ⑤	漢字3②	詩③	書写(硬筆)②	問題演習⑥

計140h

計140h

計105h

【学習の目標と学習方法】

- ・我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付ける。
- ・社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付ける。
- ・社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

<p>・授業について *授業は教科書の内容をもとにした、ワークシートを使ってすすめます(永坂)。教科書・資料集・板書・ビデオを中心に進めます(岩井)。歴史的事象や地理的事象など「事実」として覚えなくてはならないこともたくさんありますが、それをふまえ、「なぜ」「どうして」そうなのか、考えていくことが大切です。また、学んだことを通して現代社会の見方・考え方を学ぶことが重要となります。</p> <p>・生徒のみなさんに *社会科では 地図帳は必需品です。新しい地名を学んだら必ず地図で確認する習慣をつけましょう。 *新聞を読んだりニュースを見たりして、国内や世界の状況について関心をもってみましょう。そして、家の人とその話題で話ができると良いです。</p>	<p>・家庭学習について *プリント1枚が終わったら、その都度復習しましょう。とくに、穴埋めの語句は重要です。しっかりと覚えてください。自分の考えを記入する欄や単元のまとめをする欄では、時間をかけて家で一度考えましょう(永坂)。 *授業で習ったところはワークをやって復習しましょう(岩井)。 *試験前はこのように取り組もう *重要語句は正しく、漢字で書けるように、何回も練習しましょう。 *ワークは教科書を見ながらでも良いので、必ず自分の力で解き、完璧にしましょう。 *重要語句はただ覚えるだけではなく、語句を使いこなせるようにしてください。 *歴史では、主な出来事を年表にまとめ、流れを説明できるようにしましょう。 *地理では、国名や位置をしっかりと覚え、学んだ知識を白地図に書き込みましょう。 *公民では、普段からニュースを見る習慣をつけて、学んだことが現実社会のどのような場面と関わっているのか常にアンテナを高く張りましょう。</p>
---	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている
評価資料	永坂 ・定期考査 ・小テスト ・休み明けテスト ・リアクションペーパー	岩井 ・定期考査 ・小テスト ・休み明けテスト ・リアクションペーパー	岩井 ・定期考査 ・小テスト ・休み明けテスト ・リアクションペーパー ・ファイル点検 ・授業中の発言 ・授業態度(出席)

rekisi

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105h
	<歴史> 第1章 歴史へのとびら 第2章 古代までの日本(25h)	<地理> 第1章 世界の姿(6h)	夏休み	<地理> 第2部 世界の様々な地域(6h) 第1章 人々の生活と環境(10h)	<歴史> 第3章 中世の日本(16h)	<地理> 第2章 世界の諸地域 アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州(17h)	冬休み	<地理> 第2章 世界の諸地域 北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州(16h)	<歴史> 第4章 近世の日本(9h)				
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105h
	<歴史> 第4章 近世の日本② <地理> 第3部 日本のさまざまな地域① 第4部 地域の在り方	夏休み			<地理> 第3部 日本のさまざまな地域②	冬休み	<歴史> 第5章 開国と近代国家の歩み①						
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140h
	<歴史> 第6章 近代の日本と世界(12h)	<歴史> 第7章 二度の世界大戦と日本(17h)	<歴史> 第8章 現代の日本と世界(11h)	夏休み	<公民> 第1章 現代社会と私たち(13) 第2章 個人の尊厳と日本国憲法(16)	<公民> 第3章 現代の民主政治と社会(23h)	<公民> 第4章 私たちの暮らしと経済(24h)～1月まで	冬休み	<公民> 第5章 地球社会と私たち 最終章 より良い社会を目指して(14h)	3年間の総まとめ(10h)			

数学科 担当教員：

使用教材：教科書、問題集

【学習の目標と学習方法】

- ・数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得する。
- ・学習した知識及び技能を活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育む。
- ・数学のよさを知り、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとする態度を養う。

<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業は、教科書の内容を中心に進めていきます。 * 教科書、ノートは毎回必要です。また、色ペン2本、定規も毎回持ってきてください。問題集、コンパス、分度器などは必要な時に教科係から連絡されます。 * 習熟度別少人数制の授業形態で行います。 * 暗記が中心ではなく、なぜそうなるのか考え方や過程を大切にします。 <p>生徒のみなさんに</p> <ul style="list-style-type: none"> * 板書をノートにしっかり写しましょう。板書以外にも気付いたことをノートに書くとよいでしょう。 * 発言・質問、友達との学びあいを積極的に行いましょう。 * 分からないところは、そのままにせず質問しましょう。 	<p>家庭学習では</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学校で習ったらすぐに同じ単元の問題を解きましょう。 * 授業で分からなかった問題を再度、問題集などを利用してやり直しましょう。 * 宿題は、必ずやりましょう。 <p>試験前はこのような取り組みよう</p> <ul style="list-style-type: none"> * 計算練習は毎日少しずつでも行いましょう。 * 一度解いた問題を、もう一度解いてみましょう。 * 教科書の問い、まとめの問題、章の問題はもちろん、問題集も活用し、繰り返し学習を行いましょう。 * 数学の用語などは、ノートにまとめておきましょう。 * 解けなかった問題や、わからない問題は先生や友達に聞いて解決しておきましょう。
---	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。
評価資料	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・提出物(途中式など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・レポート ・提出物(途中式など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業観察(取り組み状況、グループ活動への参加の様子、発表など) ・提出物(宿題、問題集、レポート、学習プリント、タブレット課題など)

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140h
	第0章 算数から数学へ(3h) 第1章 正負の数(28h)	第2章 文字と式 (18h)	第3章 夏休み	第3章 方程式 (14h)	第4章 比例と反比例 (22h)	第5章 平面図形 (17h)	第6章 冬休み	第6章 空間図形 (18h)	第7章 資料の散らばりと代表値 (10h)	総復習 (13h)			
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105h
	第1章 式の計算(15h)	第2章 連立方程式 (12h)	第3章 1次関数 (19h)	第3章 夏休み	第4章 平行と合同 (15h)	第5章 三角形と四角形 (21h)	第5章 冬休み	第6章 確率 (9h)	第7章 データの比較 (5h)	総復習 (9h)			
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140h
	第1章 多項式(19h)	第2章 平方根 (16h)	第3章 二次方程式 (15h)	第3章 夏休み	第4章 関数 $y = ax^2$ (17h)	第5章 相似な図形 (23h)	第6章 円(10h)	第7章 三平方 (13h)	第7章 冬休み	第8章 三平方 標本調査 (6h)	3年間の総まとめ (21h)		

理科 担当教員：

使用教材：教科書、プリント、ファイル、理科ノート(2・3年)

【学習の目標と学習方法】

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

<p>授業について・生徒のみなさんに * 授業開始前には、持物をそろえ、集中できるように心の準備をしましょう。 * 授業は教科書を中心に進めます。 * 実験や観察を通して、自然の法則性などを見出していきます。 * 自ら考えて答えを導き出す過程を大切にしましょう。 * 意見を出し合うことで、ともに理解を深めることができます。考えや疑問を積極的に発信しましょう。 * 疑問に思った箇所は、その日のうちに質問などして解決しましょう。(休憩時間や放課後の質問、大歓迎です。)</p>	<p>家庭学習について * 宿題は必ずやりましょう。 * その日の授業で使ったノート、プリントの見返しをしましょう。わからなかった点を解決し、さらに知りたいことなどを調べてみましょう。見返してもわからない内容は、先生に質問してください。 * 教科書やプリント、タブレットなどを活用し、授業で学習した箇所の問題を解いて、復習をしましょう。 * 試験前はこのような取り組み * 実験や観察で、どのような手順で実験を行い、結果から、どのような考察をしたのかをまとめましょう。 * 教科書やノートを使って、重要語句や法則を復習しましょう。 * 1度やった問題も試験前にもう一度解いてみましょう。特に、1回目に間違えた箇所は必ず見直しをしましょう。</p>	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		<p>評価観点</p> <p>自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p>	<p>自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p>	<p>自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>
		<p>評価資料</p> <p>・定期考査 ・ワークシート、レポート等の記載内容 ・実験の基本的な操作の習得 ・実験結果、観察の記録 など</p>	<p>・定期考査 ・ワークシート、レポート等の記載内容 ・実験、観察における考察 など</p>	<p>・授業での様子 ・実験や観察における活動状況 ・ノートやワークシート等の記載内容 ・課題の取り組み内容 ・自己評価や相互評価 など</p>

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105時間
	1 生物の世界(26) 身近な生物の観察、植物のなかま、動物のなかま			2 物質のすがた(27) いろいろな物質、気体の発生と性質、物質の状態変化、水溶液			3 身近な物理現象(25) 光の性質、音の性質、力のはたらき			4 大地の変化(27) 火山、地震、地層、大地の変動			
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140時間
	1 化学変化と原子・分子(37) 物質の成り立ち、いろいろな化学変化、化学変化と熱の出入り、化学変化と物質の質量						3 電流とその利用(33) 電流と回路、電流と磁界、電流の正体						
	2 生物の体のつくりとはたらき(38) 生物をつくる細胞、植物の体のつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらき						4 気象のしくみと天気の変化(32) 気象観測、気圧と風、天気の変化、日本の気象						
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140時間
	1 運動とエネルギー(32) 力の合成と分解、水中の物質に加わる力、物体の運動、仕事とエネルギー			2 生命のつながり(23) 生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の種類の多様性と進化			3 自然界のつながり(12) 生物どうしのつながり、自然界を循環する物質		4 化学変化とイオン(26) 水溶液とイオン、化学変化と電池酸・アルカリとイオン		5 地球と宇宙(26) 天体の動き、月と惑星の運動、宇宙の中の地球		

9

英語科 担当教員：

使用教材：教科書、ワーク、ノート、プリント、タブレットなど

【学習の目標と学習方法】

- ・英語の基礎的・基本的な知識を身につけ、実際に運用できる力を養う。
- ・英語を学ぶことを通して、その背景にある文化について知り、自国の文化も含めた国際理解を深めていこうとする態度を養う。
- ・自分の思い、意見を適切に伝え、相手の思い、意見をくみ取り、自身を高めていこうとする力を養う。

<p>1. 授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業は基本的に英語で進んでいきます。まずは集中して授業に取り組みましょう。 * 授業は教科書の内容を理解し、学んだことを使って表現活動を行います。応用的な内容を行うこともあります。 * 授業に必要な物は必ず忘れないようにしましょう。 <p>2. 生徒のみなさんへ</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「聞く、読む、話す、書く」といった活動一つ一つの積み重ねが英語力となります。 * 一番大事なことは「積極性」です。「声を出すこと」、「英語を書くこと」など全ての活動に積極的に取り組みましょう。 * わからないところはそのままにせず、どんどん質問するようにしましょう。 * 英語学習とともに、様々な国の文化についても関心をもち自身の視野を広げてください。 * 忘れ物をした場合は、授業開始前に必ず先生に伝えましょう。 	<p>1. 家庭学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ※宿題は必ずやりましょう。 * 授業で習ったことはすぐに復習をしましょう。(教科書の音読、文法演習、単語練習等) * 提出物は締切を守りましょう。 <p><One Point!></p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業だけでなくドラマ、映画、音楽、動画、本など、家庭でも英語に触れる時間をもつと、さらに英語力がUPします。 * 卒業までに英語検定3級以上が取得できるよう、頑張りましょう。年に3回、英語検定が実施されます。2・3年生は英検チャレンジもあります。 <p>2. 試験前の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> * 教科書の範囲を音読しましょう。(何度も繰り返し読むことで、読み方などの知識を増やすだけでなく、その内容の理解にもつながります。) * ノートやプリントなどを見直しましょう。(授業中に書いたことや、単語の意味を確認しましょう。) * プリントやワークを何回も取り組みましょう。特に、授業や家庭学習の時に難しかったところや、間違えたところを重点的に取り組みましょう。 	<p>知識・技能</p>	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>
		<p>評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声・語彙・表現・文法・言葉の使用法などを理解し、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、状況等を設定した言語運用課題を通して、日常的・社会的な話題や内容について、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や場面、状況等を設定した言語運用課題を通して、日常的・社会的な話題や内容について、聞いたり、読んだり、話したり、書いたりしようとしている。 ・授業など、英語に関わることに積極的に取り組もうとしている。
<p>評価資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元確認テスト ・小テスト ・リスニングテスト ・ALTとの会話テスト ・スピーチ発表 ・プレゼン発表 ・音読チェックテスト ・音読音声ファイル 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・単元確認テスト ・小テスト ・リスニングテスト ・ALTとの会話テスト ・スピーチ発表 ・プレゼン発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物 ・ALTとの会話テスト ・音読チェックテスト ・音読音声ファイル 		

10

1年	4月	5		6	7		8	9	10		11	12		1	2	3	計140h
	Unit0	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	Unit 5	夏休み	Unit 6	Unit 7	Unit 8	Unit 9	Let's Read2	冬休み	Unit10	Unit 11	Let's Read2	
	5h	9h	11h	9h	10h	12h		11h	11h	11h	15h	2h		10h	20h	4h	

2年	4月	5		6	7		8	9	10		11	12		1	2	3	計140h
	Unit 0	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Let's Read1	Unit 4	夏休み	Unit 5	Unit 6		Let's Read 2		冬休み	Unit 7	Let's Read3		
	2h	12h	15h	20h	7h	15h		13h	22h		7h			20h	7h		

3年	4月	5		6	7		8	9	10		11	12		1	2	3	計140h
	Unit 0	Unit 1	Unit2	Unit 3	Stage Activity1	夏休み	Let's Read1	Unit 4	Unit 5	Stage Activity2	Unit 6	冬休み	Stage Activity3	Let's Read2	Let's Read3		
	3h	14h	20h		16h	4h	7h	17h	16h	5h	15h		6h	9h	7h		

音楽科 担当教員：

使用教材：教科書、音楽のハーモニー(1,2,3年)
合唱曲集 (1,2,3年コーラスフェスティバル)

【学習の目標と学習方法】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する

<p>授業について *授業は教科書、ワーク、合唱曲集を使用して進めていきます。 *音楽の技能については個別に指導していきますので、経験がある、ないは関係ないので安心してください。 *年に数回実技テスト、調べ学習があります。 *区の共用楽器の順番、インフルエンザや感染症の関係で楽器や歌唱等ができずに授業内容が前後することがあります。 生徒の皆さんに *忘れ物があると、授業に参加しづらい内容もあるので、忘れ物がないようにしましょう。週に一度の授業なので宿題、提出物、授業態度や積極性が大切です。 *苦手なものを敬遠してしまうのではなく、「まずやってみよう」という積極的な気持ちで授業に臨んでください</p>	<p>〈家庭学習について〉 *普段の生活の中で、好きなジャンルにこだわらず、いろいろなジャンルの音楽を聴いたり歌ったりしましょう。知っているジャンルや曲を授業で学習することで、興味関心も生まれ、音楽的教養が広がっていきます。 〈試験前はこのような取り組み〉 *教科書の内容、ワークシート(プリント)を中心に出题します。一週間前には対策プリントも出しますのでしっかりと学習しましょう。また、ノート提出もありますので配布されたプリントはしっかりと貼っておくと学習しやすいです。 *実技テストも事前にお伝えします。プレテストや助言がもらえる授業もありますので、クラスで皆が積極的に参加できる雰囲気になるとよいと思います。</p>			
		<p>知識・技能</p> <p>曲想と音楽の構造や背景などをとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う</p>
		<p>評価観点</p> <p>・授業観察 ・実技テスト ・定期考査 ・振り返りシート ・ワーク</p>	<p>評価資料</p> <p>・授業観察(取り組み状況など) ・ワークシート ・授業観察 ・ワーク</p>	<p>評価項目</p> <p>・授業観察(発言内容・取り組み状況・発表様子など) ・提出物 ・ノート提出</p>

一	1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計45h
	ガイダンス ボイスチェック 鑑賞「春」 校歌	11	合唱 指揮法 合唱コンクール曲決め 期末考査	3	合唱(合唱コンクール曲) 音楽記号の書き方、読み方 魔王	12	音楽記号の書き方 鑑賞「日本の民謡」 期末考査 (リコーダー)	9	器楽(箏)の基礎「荒城の月」 鑑賞「六段の調」、リコーダー 学年末考査 式歌	10				
二	2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h
	ボイスチェック 校歌、翼をください サンタルチア (7h)	6	joyful,joyful 鑑賞教室事前学習 合唱コンクール曲決め 期末考査	6	器楽創作 合唱(合唱コンクール曲) 拍子記号	7	郷土の祭りや芸能 鑑賞「アイダ」 期末考査 リズムドリル	6	リズムドリル 鑑賞「日本歌曲」「歌舞伎」「文楽」 学年末考査 式歌	10				
三	3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h
	ボイスチェック 「花」「荒城の月」 様々な国・言語の音楽	7	鑑賞「ボレロ」「アイダ」 楽典のまとめ 合唱コンクール曲決め 期末考査	6	合唱(合唱コンクール曲) 音楽を形づくっている要素 声部の役割	8	楽典のまとめ 鑑賞「日本の伝統音楽」 期末考査	7	器楽(ギター、ドラム) 西洋音楽史、ポピュラー音楽の歴史 学年末考査 式歌	7				

※区の共用楽器の順番により授業内容が前後したり、実技が鑑賞や理論に変わってしまうことがありますのでご了承ください。

美術科 担当教員：

使用教材：教科書、資料集、ワークシート

【学習の目標と学習方法】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

(1) 知識・技能 (2) 思考・判断力・表現 (3) 学びに向かう力・人間性等

・授業について	・家庭学習について	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
*自分の制作状況を把握し、作品制作を計画的に取り組む。 *お互いの作品について、良いところや問題点を話し合い、自分の作品に生かす。 *作品は最後まで作り上げ、自分の作品も人の作品も大切に作る。	*普段から、身の回りのあらゆるものに目を向け、「美しい」と感じるものを増していきましょう。例えばスケッチをしたり、写真を撮ったり、メモをするなど。 ・試験前はこのような取り組み	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさや調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、自ら表現及び鑑賞など幅広い学習に取り組もうとしている。
・生徒の皆さんに	・制作の手順や注意点を思い出し、重要なポイントや言葉を復習する *ワークシートをよく読み、単元のポイントなど全体を把握する。	○提出物など： 作品、アイディアスケッチ、ワークシート ○定期テスト	○提出物など： 作品、アイディアスケッチ、ワークシート、鑑賞ノート	○提出物など： 作品、アイディアスケッチ、ワークシート、鑑賞ノート

年間予定

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計45h
	中学の「美術」とは/1. 基礎:絵画技法/色彩/7. レタリング/7				夏休み:レタリング	鑑賞:デザイン/2 ポスター制作/10 塑造/コラージュボックス/10				冬休み	塑造/コラージュボックス/4. 生活を彩る文様 蒔絵/4		
15													45
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h
	生活を彩る文様 蒔絵/3 鑑賞:美術史/5 遠近法/2 デッサン:手/3				夏休み:ポスター	鑑賞:彫刻/2 塑造:自分の手/10 篆刻/2			冬休み:彫刻鑑賞シート	篆刻/8			
13													35
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h
	鑑賞:仏像の美/5 伝統色、伝統模様/1		藍染め/8		夏休み:ポスター	藍染め/2 水墨画 鑑賞:鳥獣戯画/2 鳥獣戯画模写、自由/10			冬休み	水墨画/2 鑑賞:美術 (art) ってなんだろう/2 パラパラ漫画 /4			
13													35

【学習の目標と学習方法】

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を身につける。あわせ災害に対応する技術を身に着けるように授業の内容を発展させて行く。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解していると、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に係わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。災害に対応する技術の応用を考える力を持っている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。災害の際に対応できる技術や技能を考察することが出来る。
<ul style="list-style-type: none"> ○授業観察 ○提出物の内容 ○授業の振り返り ○製作品 ○定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業観察 ○提出物の内容 ○授業の振り返り ○製作品 ○定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業観察 ○提出物の内容 ○授業の振り返り ○製作品 ○定期考査

17

1年	4月	5	6	7	8	9	#	#	#	1	2	3	35 H	
	ガイダンス	タブレット オモ ボード	練習製作品の製作				製作品の製作				材料加工の評価 製作した作品のまとめ	まとめたものの 発表		
			けがき	材料取り 切断	部品加工	接合	表面加工	振り 返し	材料 取り	けがき	切断	部品加工	接合 組み立て 塗装	

2年	4月	5	6	7	8	9	#	#	#	1	2	3	35 H
	生物育成・栽培作業 トウガラシ栽培				生物育成の 評価	製作品の製作				エネルギー変換を応用 製作した作品のまとめ	まとめたものの 発表		
					エネルギー変換(太陽電池)を利用したラジオ製作	ラジオ放送のAMとFM 信号				シングルでのO1デジタル表現	モールス		

3年	4月	5	6	7	8	9	#	#	#	1	2	3	18 H
	電子部品 装法と	製作品の製作		製作品の製作		コンピュータの原理、プログラムによる制御の実例				EXCEL WORD PowerPoint 操作実技		情報技術 の未来	
		電子部品の理 解と実装	ふり 返し	プログラム学習に向 けた製作品									

家庭科 担当教員：

使用教材：教科書、家庭分野ワークノート（1・2・3年生）

【学習の目標と学習方法】

・衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

授業について・生徒の皆さんに	家庭学習について	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>*授業は、教室と被服室、調理室で行います。実習が多い教科なので指示された持ち物は、忘れないようにしましょう。</p> <p>*授業は教科書やノートに記入したり、覚えなくてはならないことは授業中に覚えてしまうように授業に集中しましょう。</p> <p>*教科書、ノートはロッカーに保管して、テスト前に持ち帰り学習しましょう。</p> <p>*調理実習や作業は、指示を良く聞き安全に怪我なく楽しい実習・作業をしましょう。</p>	<p>*家庭の仕事を家族の一員として積極的に行いましょう。</p> <p>*食事や弁当づくりなど、自分の力で準備出来るようにしましょう。</p> <p>（食べることは、生きていく基本です）</p> <p>試験前はこのような取り組みましょう</p> <p>*授業で行ったこと、説明したことを中心に出題します。普段の授業から、大切なことはチェックして、試験前にそれを覚えるようにしましょう。</p>	<p>家族・家庭の基本的な機能についてりかいを深め、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて理解していると共にそれらにかかわる技能を身に付けている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 作品製作 ノート 定期考査 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作・提出物 ノート 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 作品製作・提出物 ノート 定期考査 実技テスト

15

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35時間
	食事の役割 食生活の課題 (4)		栄養素の働き 6つの食品群 (5)		食品の選択と 購入、食品の 衛生 概量と 値段 (4)		調理の基礎を知ろう 日常食の調理 (6)		生活に生か せる作品作 り被服製作 (6)		1日分の献立 を考えよう (2)		
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35時間
	衣服の 動き (2)		目的に合った着 装 カラーコー ディネー トの実践 (2)		衣服の伝統文化 和服 (浴衣) の着 装 (6)		衣服の手入れ (繊維につい て) (2)		ミシン指導、布を使 って作ってみよう ハーフパンツの製 作 (13)		住まいの働き を知ろう(4)		
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35時間
	地域の 安全 (1)		家族・家庭や地域 とのかわり (2)		幼児が喜ぶおもちゃ作り (布のおもちゃ) 手軽ぬいぐるみ製作 (6)		幼児の心身の発達と 特徴 (5)		幼児の食事 幼児のおやつ 作り (2)		伝統的な玩具を製作・体験 (2) 災害時の助け合い (3)		

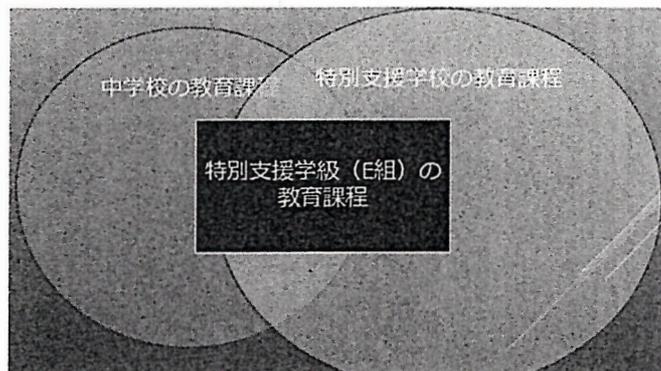
◆特別支援学級（E組）について

◆西新宿中学校には特別支援学級（知的障害学級）があり、E組といいます。

イメージ図1

◆E組は、A・B組とは別の教育課程を編成しています。

通常の学級の教育課程を基に、特別支援学校の教育課程を参考にして編成します。（イメージ図1）

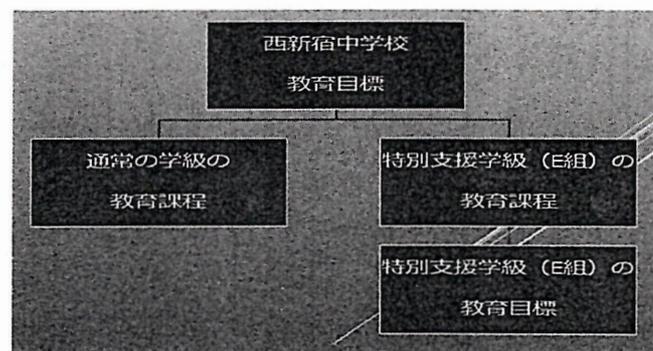


◆E組の生徒は、西新宿中学校の教育目標の下、西中生の一員として学習・活動しています。（イメージ図2）

◆特別支援学級（E組）の教育目標

- ア 健康な体と豊かな心を育てる。
- イ 基本的な生活習慣を身に付け、自立する力を育てる。
- ウ 個性を伸ばさせ、自ら社会参加できる力を育てる。
- エ 自ら学び、考え、行動できる意欲を育てる。

イメージ図2



◆学級の特徴

- (1) 「教科指導・作業学習・生活単元学習・日常生活の指導」 以上、4種類の授業で時間割を構成しています。
- (2) 学校生活支援シートに基づき、長期的な目線で「小集団学習」を行うことが特徴です。
- (3) 「健康な体」と「自主的・自立的な気持ち」を育てていくことを目指します。
- (4) 「将来の社会参加に向けた力」をつけて欲しいと考えています。

◆所属学級制度

西新宿中学校では、「交流及び共同学習」の柱として所属学級制度を取り入れており、特別支援学級設置校である西新宿中学校の大きな特徴の一つとなっています。

この仕組みは、E組の生徒が通常の学級に所属するクラスを決め、年間を通してその学級でいろいろな活動に参加していく、というものです。E組の生徒は、通常の学級の生徒を手本として、数多くのことを学び、通常の学級の生徒は、E組の生徒の個性を通して、様々な価値観を学んでいきます。これらの学びが、将来の障害理解の礎となることを願っています。